

全国高等学校 陸上競技大会2020 三段跳び 第5位

世良 柚実乃 (陸上競技部)

練習時には格好いい自分をイメージして、それに近づくことを意識しながらトレーニングしています。練習時間は限られていますが、毎回自分の120%の力を出し切ることが大切だと考えています。

北高の陸上競技部では、部員一人ひとりが高い意識を持ち、四国大会やインターハイに向けて練習に励んでいます。努力が実った時の嬉しさは何物にも代えがたいものです。夢中になることの楽しさを、みなさんも一緒に感じてみませんか？



第40回全日本ジュニアショートトラック スピードスケート選手権大会 1000m 第1位 1500m 第3位

越智 大翔 (愛顔スポーツ部)

私は、愛顔スポーツ部でショートトラックスピードスケートという競技に取り組んでいます。冬季競技を戦う上で有利とはいええない愛媛県で、いかに勝ちを意識した練習をするかということを試行錯誤しながら日々練習に励んでいます。

北高には、笑顔スポーツ部に所属して、ボウリングや空手、女子サッカーなど、学校に部活がない競技を続けている生徒が多数います。高いレベルを目指して是非一緒に活動しましょう！



令和2年度歯・口の健康に関する 図画・ポスターコンクール 最優秀賞

大木 日菜子 (美術部)

普段は活動時間が長くないので、時間内に集中して作品制作に取り組むことを意識しています。部員同士の仲が良かったため、意見交換を活発に行いながら、毎日楽しく活動しています。

勉強との両立という点でも、美術部のメリハリをつけた活動はプラスに働いており、充実した高校生活を送れています。みなさんも北高で充実した学校生活を一緒に送らせませんか？



第16回 地域の伝承文化に学ぶコンテスト 優秀賞

大森 昂 (郷土研究部)

郷土研究部は、愛媛県の歴史や伝承について研究しています。昨年度は、「河野氏と狐伝承」というテーマで、第16回地域の伝承文化に学ぶコンテストに作品を出品し、優秀賞(全国2位)を受賞しました。

北高には、北豫中学校第4代校長・秋山好古先生についての貴重な資料もたくさん残っています。恵まれた環境で楽しみながら研究活動を行うことができます。みなさんも一緒に歴史研究で北高を盛り上げていきませんか？



全 国 大 会 出 場

全日本卓球選手権大会 ジュニアの部 出場

小原 歓大 (卓球部)

私は、普段インターハイに向けて仲間とともに練習に励んでいます。練習時に意識していることは、「試合時と同じような気持ちで、試合で使う技術を磨く」ということです。

卓球部は、部員全員が楽しく真剣に卓球に向き合っている部活です。勉強との両立も、時間の使い方を工夫するなどして頑張っています。高いレベルでの文武両道を目指して、北高と一緒に活動しましょう！



全国高等学校総合文化祭 吟詠剣詩舞部門出場

吟詠剣詩舞部

吟詠剣詩舞は、着物や袴姿で漢詩や和歌に合わせて舞う伝統芸能です。それぞれの曲のテーマが伝わるように動作の一つ一つを大切にしています。初心者でも、先生や先輩が優しく教えてくれるので大丈夫です。昨年はオンライン開催の全国大会に出場し、大きく堂々と舞うことができ、団体では一体感のある舞を披露できました。みなさんも、学習と部活動の両立を目指して新しいことに挑戦しませんか。

全国高等学校総合文化祭 マーチング・バトントワリング部門出場

吹奏楽部

私たち吹奏楽部48名は、部活動だけでなく学習においてもお互いが向上することを目指して協力しています。昨年の全国大会でマーチング・バトントワリング部門に出場した際は、演奏に加えて歩きや踊りのパフォーマンスをすることや全員の音と動きを一体化させることに苦しみました。しかし、部員全員が切磋琢磨して取り組むことによって、表現することの素晴らしさや一人の人間としての成長を実感できました。みなさんも、松山北高校で自分を成長させる努力をしてみませんか。



運動部 (計18部)

弓道 剣道 サッカー 柔道 水泳
ソフトテニス 卓球 ダンス テニス
バスケットボール バドミントン バレーボール
ハンドボール ボート 野球 陸上競技
応援 愛顔スポーツ

文化部 (計15部)

演劇 華道 棋道 軽音楽 写真 茶道
美術 放送 書道 吹奏楽 クッキング
吟詠剣詩舞 コーラス コンピュータ
愛顔グローバル
(科学、VYS、郷土研究、海外研究・英会話、愛Landまつやま)



サイクリング推進事業

愛Landまつやま (サイクリング)

愛媛県が掲げる『自転車新文化』は、サイクリングを核にして交流人口を拡大させ、地域の活性化に繋がるとともに、自転車を活用した新しいライフスタイルの提案です。そこで、本校では、この提案を高校生の視点で考え、体験するための活動を総勢55名のメンバーで取り組んでいます。例えば、学校が購入した17台のクロスバイクで、サイクリングイベントに参加して、他のサイクリストや地域住民の方々との交流を深めたり、しまなみ海道までのサイクリングを企画したりして、サイクリングの魅力を満喫しています。